

# 関西特殊光学株式会社

研削・磨きを繰り返したレンズは  
目視で確認しながら仕上げていく。  
磨かたレンズは中に渦を巻いている。  
この渦は規定で何本以上何本以下と  
決められている。



ガラスの材料が届くと

5ヶ月の研削工程で

注文通りのレンズに加工する。

今ある設備やスタッフで力を合わせ  
ありとあらゆる非球面レンズを  
高精度に作り出しています



代表取締役社長

関本哲郎さん

プラスチックレンズに対抗するには、  
その欠点をつかなきゃなりません。  
プラスチックの場合、屋外での使用に  
よる劣化や変色などが弱点なので、  
耐候性を備えたガラスを利点に  
アゲルすればいいんです。

生野区は眼鏡レンズ発祥の地ですが、当社は眼鏡をいっさい製造せず、光学レンズに特化しています。当社が製造するレンズは、液晶プロジェクターの内部、舞台照明やスポットライトに使用されています。非球面レンズは成形プレスが主流。ただ、中心と周囲との厚みが違うので、大きなレンズの場合、冷めた時の縮みにバラつきができるんです。そこで、当社ではガラス研磨して加工する技術で、レンズを製造。仕組みは簡単なのですが、研磨によって正確に、かつ、ひずみのないレンズを作りあげるための技術を開発するまでに数年かかりました。それこそが、当社の財産です。

球面レンズは設備を整えれば製造できるので、安価な海外製品が出回り価格競争になっています。しかし、非球面という特殊なレンズを作るために、研磨機を自社で改造。今ある設備、今いるスタッフで、莫大な設備投資をせずに技術を磨いてきたからこそ、今まで続けることができていると思います



相談役 関本敏和さん

これまで特殊光学の分野で歴史と実績を重ねております  
当社のモットーは「フィットワークス・ピード・高品質」。  
高品質製品の製作は基本中の基本として、当社の特徴である  
「フィットワークの良ナ・ス・ピード」とは、開発設計の皆様に限りある  
時間を有効に使って戴き、且つ製品は確実に期日納入をお約束します。  
これこそが多くのメーカー様やユーザー様に変わらぬご支持と  
ご愛顧を戴く由縁であると確信しています。

大手電機メーカーが工場に  
生産拠点を移した時に、  
海外事務所を開設。  
現在、香港に事務所を構えている。

今まで経験したことのないレンズでも、  
できないという言葉は並べず、トライ&  
エラーでやってきた結果、単価の見合った  
高品質な製品を作ってきました。

相談役 関本敏和さんとのGKは、  
神の手。しかも、GKの技術は、  
試作品から本製品まで、  
GKの技術は、  
関本さんが手がけたもので、  
誤差が少なくて、  
GKの技術は、

凸レンズの真ん中にへこみを作ると、  
高度な技術を継ぎ交せながら  
さまざまな非球面のレンズを作ります。

生え抜きの職人技術で、  
日本でも屈指の  
非球面大口径コンデンサーレンズの  
製作に邁進しています。

かつては、  
非球面大口径コンデンサーレンズの  
製作に邁進しています。

## 非球面、大口径のコンデンサーレンズ 国内でも数社しかない研磨による加工

大正15年の創業以来、関西特殊光学は大口径コンデンサーレンズの製作、製造で日本有数の技術を誇る。コンデンスとは「凝縮する、集める」という意味で、コンデンサーレンズとは光を集める集光レンズのこと。金型による成形ではなく、研磨によって精密かつ高品質なコンデンサーレンズを作り出している。

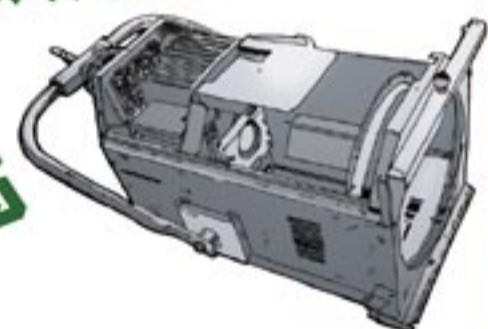
なかでも「非球面・大口径コンデンサーレンズ」は、他社の追随を許さない品質に評価が集まっている。250mmもの大口径であり、球面ではない曲面を持つ非球面の集光レンズを開発。しかも、研磨によって完成させるという点から、技術の高さがうかがえる。

それだけの技術を保持しながら、価格面への追求も欠かさない。というのも同社のレンズは製品としては成り立たず、スポットライトなど完成品の一部品。性能や品質はもちろん求められるが、完成品の購入価格を考慮した適正価格での提供も重要になってくる。だからこそ、費用のかかる金型を必要としない研磨での加工を選択。さらに、量産体制に向けて自社で機械を改造するなどの工夫も行っている。

ガラスを使うもの、ガラスでないとダメなものが同社の狙う市場。さらに、医療施設で使用される影ができない無影灯照明用のレンズ、飛行場での誘導灯のカバーガラスなど、新しい分野にも挑戦している。あえて稀少マーケットを狙うことで、同社の技術が存分に発揮できる。

我が社の  
自慢

コンサートホールや劇場、国技館の  
スポットライトに  
同社のレンズが使われている



コンサートホールや劇場などのスポットライトには、集光レンズが使われる。超大物歌手がコンサートを行ったホールにも、同社のコンデンサーレンズが使用されている。また、国技館の天井には400台ものスポットライトが配置されていて、そのスポットライトにも同社のレンズが使われている。

### 関西特殊光学株式会社

<http://www.kansaioptical.com/>  
〒544-0022 大阪市生野区舎利寺2-9-5  
TEL 06-6731-1110 FAX 06-6731-5332

事業内容 / 各種光学レンズ、各種光学フィルター  
硝子、反射鏡・コールドミラー、非球面コンデンサー  
レンズの製造